

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～ママパパがデザインする伊那まち～ 伊那まちサスティナブルライフデザインプロジェクト
事業主体 (連絡先)	特殊法人 伊那商工会議所 (伊那市中央4605番地8)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 (エ 商業の振興) ②保健、医療、福祉の充実に 関する事業 ④安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 826, 980円 (うち支援金: 1, 370, 000円)

事業内容

伊那市中心市街地の空洞化や長引くコロナ禍による疲弊感からの脱却に向け、子育て世代をターゲットにした賑わいを創出するためのイベント開催、また日常的に商店街へ訪れるためのニーズ調査と新たなファンづくり事業を実施。

- ・天然芝に生まれ変わったセントラルパークでのワークショップ開催 (5月)
- ・歩行者天国による賑わい創出イベントの開催 (6月伊那まちバラジャズストリート、7月伊那まちファミリーフェスタ2022)
- ・街歩き用のいなまち子育てマップを制作

事業効果

- ①子育て世代をターゲットに3年ぶりに開催した歩行者天国イベント等により、普段商店街へ訪れない世代へ変化を遂げる街の姿や魅力を伝えることができた。イベント以外でも街へ訪れることができるよう家族連れで来店しても対応できるサービスやお困り事等が相談できる内容を店舗毎に掲載した街歩き用の商店街マップを制作した。
- ②マップ制作にあたり、市内保育園に通う園児の保護者といった子育て世代に、商店街に必要な施設やサービスのほか商店街の利用状況について利便性や課題、要望等の意見を収集し、マップ制作や商店街の魅力向上事業の参考にするとともに、商店街へ情報を提供して意識向上を図った。
- ③歩行者天国イベント等では歩行者天国の沿道以外の店舗や各種団体との出店から新たなネットワークを構築して事業発展や販路開拓に繋げた。

今後の取り組み

子育て世代が、今後はイベント時だけでなく日常的にも街に訪れるよう、事業を継続的に取り組み商店街の新たな魅力を伝え続ける。これまでの実績を反映させて商店街を子育て世代の交流の場とすることで街中の回遊性を生みだし、イベント以外の来店を増やすなど新規顧客獲得に繋げる。地元地域を主体とした協働による取り組みから、街づくり人材の育成や発掘を促し、参加店舗同士による新たなネットワークづくりと街の賑わいを創出することで新規創業希望者にも魅力ある街づくりを発信する。



【歩行者天国イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①商店街への新たなファンづくり
- ②商店街に対する魅力調査
- ③店舗同士の新たなネットワーク構築

※自己評価【A】

【理由】

ターゲットを子育て世代に設定してイベント等を開催し街の魅力を伝えた。新たなファンづくりと街のニーズ調査から、一過性の賑わいでなく、日常的に街へ誘導する事業が実施できたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある